

オンライン教育を成功させる[4つのスタートプログラム]

構想・設計：鈴木敏恵

教育や医療機関など、人と人が向かい合う対面を前提とした組織において、オンラインによる教育を成功させるためには「正確な意思疎通」「心が通じるコミュニケーション」が可能な環境マネジメントを学習者が整えられることが必要となる。（プログラム【1】）

また自分で考えて学びや仕事を進めることができる目的意識や客観的に自分を見て、自ら成長させることができる意志（＝セルフマネジメント力）を身につける必要がある。（【2】）

直接、会ったことがない学習者同士が、共通する課題で取り組む学習で成長するためにも、オンラインで互いの存在を認識し理解しあうことがある、それは在宅で孤独や不安を感じていた学生たちの力ともなる。（【3】）。新型コロナ感染を防ぐために自宅で生活、学び、仕事をリモートですることとなり、「生活リズム」「健康管理」を自らコントロールする意識と能力スキルを身につける必要がある。（【4】）

上記【1】～【4】を、オンライン授業スタート時に行うことが有効である。

4月のオリエンテーションにてこの【1】～【4】のプログラムはすでに提案者である鈴木敏恵が全国の学校や社会的機関でオンラインで実施し、新しい時代にもとめられる意志ある学びの実現やコミュニケーション力、課題解決力の修得に高い効果をあげたものである。

【1】 [オンライン授業スタート]リテラシー

新学期やオンライン授業をスタートする際に求められる「正確な意思疎通」と心を伝える高度なコミュニケーションスキルを身につけるプログラム。（講義とWS）

- 「高度コミュニケーションスキル」の習得
- 自分自身の表現パフォーマンスを工夫／ワークショップ（体験型講座）

【2】 [意志ある学び] 思考スキル

オンライン授業を意欲的にモチベーション高く進めるには、そのスタートに「今日の目標」「展開」を、共有し学生のコンセンサスを得る。学習者自身が自らの学びを組み立て遂行するための「目標設定」はどうするのか。課題解決の思考プロセスを学ぶプログラム。（主に講義）

- プロジェクト学習とポートフォリオの知識（ビジョン・ゴール）
- キャリアポートフォリオの知識とスタート

【3】 [自己と他者との対話] ポートフォリオ・ワークショップ

Zoom「ブレイクアウトルーム（ブレイクアウトセッション）機能」を使い学生同士がペアを組みポートフォリオを活かして相互理解をはかります。自粛で学校の友達と会うことのできない学生に大変、有効な成果をあげるプログラムです。

- ポートフォリオ(PF)を使って自己と対話する、そして他者と対話する
- 高度コミュニケーションスキルを発揮する

【4】 [チームで成果を出す] プロジェクト学習・ワークショップ

学期スタート、新型コロナで生活リズムがうまくコントロールできない、自分の健康管理をどう課題解決したらいいのか根拠ある情報を自ら学生たちがチームで取り組むプログラム。「セルフマネジメント（自分自身を律するための能力）」を身につけるプログラム。

- ライフ（健康・生活）ポートフォリオでマネジメント
- プロジェクト学習の手法で、健康課題を解決し提案するゴールは他者に役立つ知の成果